

ディプロマポリシー

リハビリテーション学部は、建学の精神「報恩感謝」ならびに「人をつくる」という教育理念のもとに多様化する社会のニーズに応えることのできる医療専門職としての理学療法士及び作業療法士を育成することが責務とされている。

医療・保健・福祉の領域におけるリハビリテーション専門職は、知識や技術の修得に止まらず他者の立場に立って最善の医療を実践しようとする熱意と誠意が求められ、さらにこれらを基盤とした専門的技術の実践力と応用力が必要とされる。

本学部では、このような責務を具現化するために以下の三つの領域にわたる内容を修得した者に対して学士（リハビリテーション学）号を授与する。

情意領域

- ・人への感謝を忘れず、人のために尽くそうという高い志を備えている。
- ・リハビリテーション専門職として人間性豊かな倫理観と責任感を兼ね備えている
- ・リハビリテーション専門職としての熱意とたゆまぬ向上心を備えている。

認知領域

- ・リハビリテーションの社会的意義、責任について理解している。
- ・リハビリテーション専門職として必要な教養を備えている。
- ・リハビリテーション専門職として必要な基礎医学の知識を修得している。
- ・リハビリテーション専門職に必要な幅広い臨床医学の知識を修得している。
- ・理学療法士・作業療法士として必要な専門的知識・技術を修得している。
- ・事象を科学的に捉え、客観的な判断が出来る能力を備えている。

精神運動領域

- ・チーム医療の一員としての役割を認識し、責任ある行動がとれる。
- ・リハビリテーション専門職としてのコミュニケーション能力を備えている。
- ・対象者に対してインフォームドコンセントが実践できる。
- ・リハビリテーション医療を実践するにあたって必要な安全性に対する配慮が出来る。
- ・専門的知識や技術を目的に応じて正確に選択し、実践できる。
- ・臨床場面で指導的役割を果たすための基礎力を備えている。